

	<p>深い錆穴があり、錆汁の発生しているホーローバスです。</p>		<p>ガラスクロス</p>
	<p>深い錆穴があり、錆汁の発生しているホーローバスです。</p>		<p>今回は、エポックスソフトタイプのエポキシパテをガラスクロスのバインダーとしました。</p>
	<p>ホーローバスの錆部は、ホーロー層と鋳物本体の間に水の侵入があります。このまま塗装してしまうと膨れや浮き塗膜の原因となりますので事前の強制乾燥が重要となります。</p>		<p>深いクラック部・穴部・錆傷部はパテ処理を行います。</p>
	<p>表層が熱くなる程度の強制乾燥を10分程度行います。</p>		<p>ホーローバス用ベースコート[®]の塗布。エポキシ系。</p>
	<p>乾燥後の表層全面研磨。表層研磨は粗目のジスクペーパー等を使用し（#20・30・40番粒度）しっかりとした足付け傷を万遍無く付け、シンナー脱脂清掃を行います。</p>		<p>上塗りは標準の2回塗りで仕上げました。</p>